



2. 年始あいさつ

4. 令和元年度 新規採用予定職員研修会

6. 令和元年度 施設長研修会・保育士の専門性を高める研修会

7. 創立60周年記念対談・施設長研修会

8. キャリアアップ研修

9. 保育士養成施設(校)との意見交換会

10. ぶらんこ・園紹介

13. 支部だより

14. 委員会報告

# 会長挨拶



静岡県保育連合会会長

## 土山雅之

新年明けましておめでとうございます。令和二年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各施設とも、その対応に追われて大変な一年となったことと思います。また、感染防止のため、例年通りの保育や行事を実施することができず、子ども達の経験が大幅に制限されてしまう事態に頭を悩まされ、新しい知恵を出し合って乗り越えてこられたことと存じます。

保育連合会の諸行事も、コロナ感染防止のため、中止となったり延期となったりしてまいりました。ただ、できることは行いたいということ、六十周年の汐見先生と大豆生田先生のWebによる対談、また施設長研修会も北野先生を講師にお招きし、同様にWebを利用しての研修会を実施しました。また、委員会等の会議をもネット利用により行ってきました。新しい形を手探りではありますが、

一歩ずつ歩を進めてきた所です。

これまで私たちは非常事態宣言の中でも、休園することなく、保育を実施してきました。全国的に見れば、保育園は九九%の園が休園することなく子どもと過ごしてきました。認定子ども園は一〇%の園が休園、幼稚園に至っては七五%の園が休園となったということです。ここから考えてみても、保育園・認定子ども園は、働く保護者にとつてのライフラインとしての位置づけになり、なくてはならないものとして再認識されたことと思います。

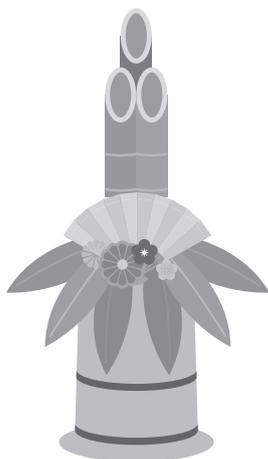
ただ、忘れてならないのは、保護者にとつてはライフラインであつたかもしれませんが、最前線で保育を展開してきた各園の保育者は、子どもと接するときは笑顔で明るく対応していました。内心は大きな不安と心配の中で本当に手探りで保育を展開してきた、という所が実際の所だったのでないでしょうか。でもその保育士の頑張りがあつたらこそ、大きなクラスターを発生させることなくここまでやってこられたのではないかなと思います。

本来の保育は、今の新しい生活様式、三密を避ける生活の対極にあります。スキミングの大切さは、常々私たちが保護者に呼びかけてきたことです。大人の口の動きをまねて子ども達は言葉を習得しています。マスクを付け今の三密を避ける生活を続けていったとき、子ども達の成長発達がどのように変わってしまうか、実は心配なことでもあります。

子どもの発達のために最善の方法を取りつつ、しかも感染防止に努めていく、新しい保育の方法をどのように確立していくか、私たちに課せられた課題は大きく重いものとなっています。このコロナ禍の中、これからのどのような保育を展開していくか、各園とも創意工夫を凝らしながらの保育実践となることは間違いないことだと思います。

ただ、この非常事態に甘んじて保育を停滞させることなく、また何もできないと保育に絶望するのではなく、これまで行ってきた保育を新しく見直すきっかけにしていくチャンスです。ピンチは最大のチャンスである、とよく言われます。

令和三年はその新しい保育、新しい実践取り組みを展開し、子ども達の最善の利益のため、前へ進めていけたらと思います。保育連合会としても、そのために精一杯の取り組みをしていく所存です。ぜひ皆様のご理解とご協力をお願いし、私の年頭の所感とさせていただきます。



# 新年の御挨拶



静岡県健康福祉部理事（少子化対策担当）

南野 剛

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで御挨拶を申し上げます。昨年から続くコロナ禍の中、本県の子供たちの保育に懸命に取り組んでいただき、厚くお礼申し上げます。目に見えない新たな感染症への対策に細心の注意を払いながら、日々幼子の保育を行う現場を思い浮かべますと、本当に感謝の念に堪えません。

県におきましても、保育所や認定こども園などに対しまして、マスクや消毒薬の配布、感染症対策経費への支援を行いましたほか、感染症対策の専門家が現場に伺い助言を行う事業や現場で不安を抱える保育士の皆様に対する相談窓口の開設に取り組んでおります。

新型コロナウイルスの流行は、社会経済に大きな影響を与えておりますが、いざれワクチン等が開発され、ウイルスを克服する時は必ずまいります。この点を視野に入れ、安心

して子供を育てることができる社会の実現に向け、私たちは基本となる取組を浮き足立つことなく着実に進めていくことが肝要です。一方、ITの活用など新しい生活様式や効率的な働き方への移行も進み、また、対策の徹底で従来の感染症の流行は大きく減少するなど「災い転じて福となす」といった取組も活かしていく必要があります。

県といたしましても、待機児童の実情を踏まえつつ、市町と連携した受け皿の整備を進めるほか、保育人材の確保や定着を図ることを基本に据え、様々な施策に取り組んでまいります。特に、子供が健やかに育つためには、保育士の皆様の果たす役割は大きいことから、人材確保策として、就職支援、潜在保育士の現場復帰支援や保育士試験の合格に向けた対策講座などを行ってまいります。

また、人材の定着の面では、保育士の皆様が専門性を高めて働き続けられるよう、貴会のお力添えにより、年々講義内容が充実してきておりますキャリアアップ研修を行ってまいります。

今後、現場の声に耳を傾けながら、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えたサポートに努めますほか、保育士の皆様が専門性を磨きながら、やりがいを持って働く環境を整備することで、質の高い保育を持続的に提供できるように、静岡県保育連合会の皆様や市町と共に取り組んでまいります。

結びに、静岡県保育連合会の皆様におかれましては、引き続き、県の保育行政への御協

## 表彰

おめでとうございます

### ◆全国保育協議会会長表彰

松井 美智  
富士市 松岡保育園

### ◆日本保育協会会長表彰

\* 永年勤続保育者表彰（施設長）  
岡野 愛子  
藤枝市 青木橋保育園

### \* 永年勤続保育者表彰（職員）

大石 照寿  
焼津市 なかよし保育園  
村松 紀子

焼津市 なかよし大富保育園

### ◆全国私立保育園連盟表彰

\* 保育功労賞  
市川 忠義

静岡市 草薙ふたばこども園

### ◆静岡県健康福祉大会における知事表彰 （社会福祉関係団体役員）

静岡県保育連合会会長  
土山 雅之  
三島市 白道保育園

力を賜りますようお願い申し上げます。同時に、貴会の益々の御発展と貴会員の皆様の御健勝を祈念し、新年の挨拶といたします。

# 新規採用予定職員研修会

## 東部支部

月日 令和二年二月二十六・二十七日  
会場 三島市 箱根の里少年自然の家  
沼津市 市民文化センター大ホール

参加者 五十七名

開会式終了後、班内で役を決め、すぐに野外活動のポイントラリーを行いました。三種類いづれも協力しなければクリアできないものに挑戦し、出会ったばかりの人達が個々の智慧を絞りより良い点数、タイムを求めました。そのチームワークを基とし、昼食は飯盒炊飯でカレーとそれを食べる道具を竹で作りました。同じ釜の飯を食べることにより仲間意識が深まったと思います。

最初の講義は「社会人として一番大切なこと」と題してアップハート代表勝又ひで子先生より、社会人として最低限の人間関係と職務接遇を教えていただきました。「挨拶は人間関係の始まり」という言葉には襟を正す思いでした。



夕食後に一度帰宅をしてもらい、二日目の講義は「保育園・認定こども園にとって一番大切なこと」を青野貴芳 県保連副会長。「あなたにとって一番大切なこと」を、

吉川慶子県保育士会会長より、それぞれ保育園、保育士の使命と役割、施設職員としての基礎知識を教えてくださいました。

午前の最後の講義は野中こども園の中村副園長先生に「現場からのアドバイス」としてワークシヨップを主導していただき、社会人目の希望や期待など、前向きな気持ちを共有することができたと思います。園で実習生を受け入れる時の振り返りや、言葉がけなど私達も学びの時となりました。



そして午後は「SNS利用時の倫理的な判断と行動の重要性について」と題し、NPO法人浜松こどもとメディアリテラシー研究所代表の中澤弘子氏より講義をいただきました。メディアに対する意識の見直し、安易なSNSの利用を避けること、想像を膨らませ注意をしなければいけないこと、これから社会人の責任ある立場になるということを、強く言われました。

開催直前での日程変更などイレギュラーの多い研修でしたが、講師や実行委員の先生方の協力のおかげで無事に終了することができました。今回の研修を通して貴重な時間と仲間のご縁をいただき、学んだことをいかし

ながら、まずは保育を目一杯楽しみ、素敵な保育士・保育教諭へと成長して欲しいと思います。

実行委員長 慈恩こども園 土山龍之

## 中部支部

月日 令和二年二月十八日・十九日  
会場 静岡県立焼津青少年の家

参加者 九十二名

焼津駅前集合から研修が始まります。バス二台に分乗して青少年の家を目指します。例年朝一番に集まった研修生がこの二日間の研修の初心表明をすると伝えられます。

初めに所員さんの挨拶、オリエンテーションがあり、班長や生活係など役割を決めて班別行動をします。

講義一は、県保育連合会中部支部長の私、海野が「保育所の使命と役割」というテーマで保育所の法的な位置づけ、社会的な使命についてお話ししました。

講義二では吉川慶子静岡県保育士会会長より「保育者としての役割」というテーマで保育者としての服務規律や危機管理意識、社会人としての心構えなど講演いただきました。

午後には、以前この研修に参加し、現在焼津ふたば保育園の保育士大畑真智子さんより、実際に保育にかかわっての体験談を聞かせて頂きました。身近な先輩の言葉を真剣に聞き言っていました。

その後は明星保育園の櫻井英世先生の手遊び・歌遊びの実技指導がありました。乳児か

ら幼児までそれぞれの年齢にあったものが紹介されました。午後は、チャレンジラリーを、体育館、廊下など工夫して使用し、各クラスに一〇個のチャレンジにかかった時間を競い合いました。ここきて急に班のみんななどの一体感が高まりました。



夕食後は、各宿泊室で、実行委員が研修生の不安や悩みを聞いて助言や勇気づけをしてもらい貴重な時間を持つことが出来ました。

実行委員にとっても、園で実習生を受け入れられる時の振り返りや、言葉がけなど学びの時間となりました。

二日目講義三は、駿河こどものとも社代表の高林公一氏による「子どもと絵本」というテーマで絵本の楽しみ方、保育におけるその活用を、お話しいただきました。幼いころに出会っていた絵本が紹介されると懐かしそうに楽しんでいました。

講義四は、土方良子先生による「私が目指す保育者を明確にする」というテーマでした。一人一人が積極的に参加していけるよう、土方先生により声掛け、指導を頂き、コミュニケーション力がグンと高まりました。

研修生にとっては時間に厳しい盛りだくさんの研修でした。今回の学びや、体験、研修生同士のかわりが、自らの力となって保育

の場で役立つことを願います。

この二日間を通して研修生から一社会人としての思いが深まったように思います。四月から研修生の皆さんのひとり一人の賜物が大きい発揮できますように陰ながら応援いたします。終わりに、講師の先生方や実行委員の皆様のおかげで新採研が無事に終了できましたことをここに感謝申し上げます。

実行委員長 一番町保育園 海野 美代子

## 西部支部

月 日 令和二年二月十九日～二十一日

会 場 静岡県立三ヶ日青年の家

参加者 九十七名

西部支部では感染症対策を徹底しながら、伝統の二泊三日の研修を行いました。

一日目、浜松駅前に集合しバス二台に分乗し研修開始となりました。開講式後、県保育士会岡本副会長から「保育者としての自覚と責務」の講義を受けました。保育者として必要な基礎を教えて頂きました。

午後は二時間から三時間かけて班ごとに歩くオリエンテーリングを実施し、チームで助け合ったり、励まし合ったりする大切さを実感しながら親睦を深めることができました。夜には「子どもと絵本をひらくとき」をテーマに絵本についての講義を受け、今までに見て



いた絵本であっても、作者の工夫や思いに改めて触れ、その面白さを再発見できました。

二日目、県保育連合会岡田副会長の講義。「保育所・認定こども園の使命と役割」について園と職員や社会との関係などの基礎知識を学びました。続いて「わらべうたを通して育つもの」を行いました。わらべうたを通して子どもたちとの信頼関係を築くことを学びました。午後の「現場からのアドバイス」では、四月からの勤務に不安な気持ちを持たない様に受講生係の先輩方に率直な疑問をぶつけ、グループの仲間と共感しあいながら、就職への決意を新たにしていきました。「こどもとあそぼう」では、運動遊びの楽しさを共有しました。「SNS利用時の倫理的な判断と行動の重要性について」最近のネット・ケータイ・スマホ」では、安易なSNSの利用が思わぬトラブルを招き、大きな問題になる可能性があることがわかりました。

三日目、最後に「社会人として一番大切なこと〜人間関係と服務接遇〜」の講義を受けました。社会人としての意識が芽生え真剣な表情で講義に向かっていました。

三日間という長丁場の研修でしたが、講師や実行委員の先生方の協力のおかげで無事に終了することができました。今回の研修を通して学んだことを活かしながら、保育を楽しみ子どもや現場の先生方と共感しあいながら、素敵な保育士・保育教諭へと成長していきたいと思えます。

実行委員長 いずみこども園 林 幸洋

## 令和元年度 施設長研修会

令和二年一月三十日（木）静岡市のグランシップ会議ホール風において二百八十一名が参加して令和元年度施設長研修会が開催されました。

午前の講演は「もうひとつの空気をどう創るか」と保育環境整備への取組を通して」というテーマでおお

ぞら教育研究所 代表の木村歩美氏に講演をいただきました。木村氏は写真や映像を使用し屋外における環境整備について大変分かり



やすく説明いただき、自然を通じた環境の重要性を再認識しました。また午前には会長講演として、静岡県保育連合会 土山雅之会長による「保育情勢報告」が行われました。近年では教育・保



「もうひとつの空気をどう創るか 整備への取り組みを通して」  
おおぞら教育研究所代表 木村歩美氏

育に関する施策が毎年のように大きく変わる中、参加者は真剣な様子で情勢報告に耳を傾けていました。

そして、午後には「関わりの質を高めるリーダーの役割」と福祉と教育の機能を果たすために」というテーマで東洋大学教授の高



山静子氏に講演いただきました。

講演では、子どもと関わるうえで大切な視点を体験に基づき講演頂き、園での保育実践に活かせる有意義なものでした。

## 令和元年度 全保協 関東ブロック 保育士の専門性を高める研修会

令和二年二月二十五日（火）二十六日（水）また保育士等キャリアアップ研修の受講と兼ねて二十七日（木）浜松市のサーラシティ浜松において、八十六人が参加して、「保育士の専門性を高める研修会」が保育における家庭支援の基礎知識が開催されました。講義Iでは、淑徳大学教授 柏女霊峰氏より、「保



護者支援と子育て支援の役割と機能、現状と課題」について講義をいただきました。子ども・子育て支援制度の創設とその意義から幼保一体化でできる仕組みについて詳細に触れ

てお話を伺いました。子どもの思いや保護者の意向、気持ちを受け止めることや受容の大切を考えることができました。講義IIは講義Vでは、日本社会事業大学教授 金子恵美氏により「保護者に対する相談援助」「地域における子育て支援」「虐待予防」「関係機関との連携、地域資源の活用」について講義をいただきました。演習グループ討議交え、意見を交換し合い貴重な時間をいただきました。



保育及び子育てに関する知識や技術など、保育士等の専門性を発揮し、子どもと保護者を取り巻く環境などに、今日の研修内容を現場に持ち帰り活かされることを応援しています。

# 創立六十周年記念対談

「改めて『これからの保育』を考える」  
～質の向上と持続可能性の観点から～

令和二年十月十五日、県保連創立六十周年を記念して、汐見稔幸東京大学名誉教授と大豆生田啓友玉川大学教授による対談がwebにてライブ配信されました。

冒頭、土山雅之会長より「六十周年という節目の年ではありますが、新型コロナウイルス感染症予防の為、今まで経験したことのない保育を続けている皆様のご苦労は大変大きいと感謝しています。この対談が新しい保育の現場に活かす一助となり、静岡の子供の育つ環境がさらに前進する事を念願しています。」と挨拶がありました。

その後の対談では、大豆生田先生の進行の下、始めに保育の質の向上について、汐見先生より世界的な背景から政府の検討会における議論の考え方や込められた想いを伺いました。続けて職員研修に話が及び、往還型研修や公開保育の意義、園内研修の事例、ドキュメンテーションによる保育の見える化の有用性について、多くの実例を挙げて紹介されました。

次に、自己評価ガイドライン改訂のポイントとして、振り返りのプロセスが大切であるとし、持続可能な社会と保育の役割として、私たちはどう貢献できるのか、保育者もSDG、Sに関心を持たなければいけないだろう。また、五歳児の義務教育化について、世界的な動向と、日本における議論の必要性につ

て言及されました。最後は保育を楽しむためのアドバイスをいただき、終始和やかな雰囲気の中で、対談は終了しました。保育の最前線におられるお二人の貴重なお話を伺えた、大変有意義な記念対談でありました。



**施設長研修** (民間園長研修合同Web開催)  
いま、求められる保育の専門性  
～保育の質をめぐる研究の動向～

講師 神戸大学 准教授 北野幸子氏  
期日 令和二年十一月十七日

間違いなく、歴史に残る年となった二〇二〇年。一〇〇年に一度のウィルスは世界中で猛威を振るい、生活様式そのものの変更を迫ってきました。保育の世界も例外なく変革が求められています。この「ピンチ」を「チャンス」に変えるために、今こそ求められる保育の専門性について、北野先生より講演いただきました。

休園の措置や、医療従事者・エッセンシャルワーカーのみを対象とした特別保育実施の影響で、著しく減少した子どもの運動量。マスクの着用が必須となり、口元が見えない中での保育を迫られた場合の〇・一歳児の発達への影響。行事やイベントの中止・縮小による表現の機会減少…。不安要素や調査研究から見えてくるネガティブな結果をしっかりと受け入れたうえで、子どもにとって保障される

べき経験が保障されているか。変わり続ける社会や地域、保護者からの要望と、子ども達の主体性をバランスよく繋ぐことはできているか。改めて、自らの保育を見つめなおすことの必要性を感じると同時に、乳幼児期の子ども達に関わる『保育』という仕事の責任を感じました。

また、子どもにとって大切な経験を保障するための具体的考え方として、乳幼児教育は「コンテンツベース」ではなく、学ぶ内容よりも、興味を持ち、関わり、考え、工夫し、諦めずに取り組み、そして楽しむというプロセスを重要視しなければならぬというお話をいただきました。保育者は、遊びの発展や思考を支え、子どもが自ら考え、選択できる環境を用意し、そして意図性・願いをもって子どもを見守る。一人ひとりの発達に寄り添い導くために、スタンダードな歳児別の発達を(スケールとして)知ったうえで、できる・できないで判断することも、無理に「当てはめる」こともせず、この時期に適した関わりを模索する。さらに、このような状況下だからこそ、例年以上に丁寧な、よりなだらかな小学校との接続が望まれる。

今だからこそ確認、再考できたことが多くあり、未だ終息が見えないコロナ禍においての指針に溢れた、実り多い研修会でした。北野先生、ありがとうございました。



# 静岡県保育士等キャリアアップ研修

令和2年度七月二十八日～三十日にかけて静岡県の委託事業（三年目）であるキャリアアップ研修「保健衛生・安全対策」が行われました。出席人数は九十九名（コロナウイルスの関係で三十二名のキャンセルあり）、講義日程は以下の通りです。

七月二十八日

・午後講義「保健計画と作成の活用」

常葉大学 木山幹恵氏

七月二十九日

・午前講義「事故防止及び健康安全管理」

常葉大学 木山幹恵氏

・午後講義「保育所における感染症ガイドライン」

常葉大学 木山幹恵氏

七月三十日

・午前講義「保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン」

常葉大学 木山幹恵氏

・午後講義「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」

保育安全のかたち 遠藤 登氏

本キャリアアップ研修は、方法・内容共に新型コロナウイルス対策が大いに盛り込まれておりました。出席者の対応としては、席が一定間隔離れている他、手のアルコール消

毒、毎朝の検温、マスク着用等、様々な工夫等が実施されておりました。内容では、特に感染症対策の場面等で新型コロナウイルスに触れ、また、研修出席者より園における新型コロナウイルスの対策の質問が出る等、研修出席者も新型コロナウイルスへの対策には熱心に学ぶ姿勢が伺われました。



以下、内容について触れたいと思います。

一日目の「保健計画と作成の活用」では、木山講師より基礎的な事項として、子どもの健康に必要な三項目である「健康管理」「健康教育」「環境衛生・環境安全」についての話を始め、その後保健計画の基本的な考え方に入りました。午後には実際に個々で保健計画を作成しました。本来であれば木山講師はグループワークで行いたいようでしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、

個々人の作業となりました。

二日目の午後には感染症の対策について「感染症ガイドライン」に沿って具体的に感染症対策に触れていきました。ここでは会場から保育園やこども園における具体的な新型コロナウイルス感染症予防対策の質問も出るなど、具体的な感染症対策に関して木山氏より拝聴することができました。

三日目の午後の「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」はキャリアアップ研修で初となるリモートによる講義が行われました。重大事故が発生しやすい、睡眠中、プール活動・水遊び、誤嚥、食物アレルギーに分けての説明の他、事故発生時の対応について過去の事例を用いながら具体的にご講義していただきました。



## 「保育士養成施設(校)と静岡県保育連合会」との意見交換会

令和二年十一月十二日に、県保育連合会の正副会長及び研修委員と保育士養成校との意見交換会を行いました。今年は、新型コロナウイルスの影響でWEB会議にて行われ、主な内容は、次の通りです。

### 【養成校からの質問・意見等】

- ・実習生は実習先の園の職員について敏感であり、とても気にしている。
- ・学校で学んだ保育の在り方や姿勢をととても大切にしようとしているが、実際の現場では違うと感ずることが多いようである。
- ・実習日誌はどのような形式で書いたほうがよいのか。県の基準又は形式があるか。
- ・こども園では職員間の打ち合わせはどのように行っているか。特に複数担任の場合の週間計画はいつ、誰が主になって行うのか。
- ・一号認定の子どもと二、三号認定の子どもで、保育内容に違いがあるか。また大規模園と小規模園とで保育内容に違いがあるのか。
- ・今年はコロナ禍で大変気をつかって保育をしている中、実習生を受け入れていただき、実習の大切さ、貴重さをあらためて感じ、受け入れていただいた園に御礼を言いたい。
- ・実習をするにあたり、実習初日に指導案を提出するよう求めてくる園があるが、皆さんの園ではどうか。
- ・保育実習にあたり、学生に身につけさせておくべきことはあるか。また養成校への要望があれば教えていただきたい。

- ・部分実習の内容について教えて欲しい。
- ・また部分実習をやる園とやらない園があるが、やらない園の意図はどのようなことか。
- ・実習中の養成校の担当の巡回訪問について、園や実習生の様子を伺うことができず学校としても続けていきたいが、どう感じているか。

### 【保育連合会参加者からの発言】

- ・学校で学んだ保育の在り方や姿勢を大切にしていたきながら、実際に子どもたちと触れ合い、その子どもが今何を感じているか、何を求めているかを読み取っていくことが大切である。それと同時に保育者の対応について、何をねらいとし、どのような育ち、発達を促しているのかを観察していただければと思います。
- ・同じことを通り一遍にやっても一人一人の子どもの受け取り方や表現の仕方が違うので、その子の発達過程や育ちの環境を把握し、どうすればこの子をよりよく伸ばしていけるのかを家庭と職員間で話し合い、試行錯誤しながらその子のよりよい成長を促していくようにしている。
- ・実習日誌について、特に県独自の形式はないが、当園では初日から三日目くらいはその園の一日の流れを主に記述していきたい、その後子ども一人一人に絞ったエピソード記録も入れながら記述していくよう指導している。

- ・職員間やクラスの一週間の打ち合わせについて、週間計画に基づきながら、子どもの状況に合わせてこまめに行っている。複数担任のクラスではリーダー保育教諭を中心に週案を作成している。
- ・一号認定と二、三号認定の子どもの保育内容は、その園の規模にもよるが、特に違いはない。

- ・実習初日に指導案を求めることはない。園により一日の流れやその子どもたちの様子も違ってくるので、最初は園の様子を把握した上で保育教諭と相談して作成すればよい。
- ・保育実習までに学生に身につけて欲しいことは、学校で学んだ保育理論を基礎とした上で、教育・保育に携わる者としての自覚をもち、まずは人としての基本的なあいさつや言葉遣い、生活態度を身につけていただきたい。そしてこの実習で何を学びたいのかの目的意識を持ち、積極的に子どもたちや保育教諭と関わって欲しい。大切なことは何事も素直な心で学ぶということ。
- ・部分実習について、是非積極的にやっていた方がいい方が、実習生にとって学ぶことは多いと思う。ただし時期によっては、園の行事や中長期的な設定保育を実施している時にはできないこともある。
- ・実習期間中の養成校からの巡回訪問について、長い実習期間なので学校の先生の訪問は実習生にとってはうれしいことではないか。園としても学校の情報などを聞くことができるので良いと思う。

## 富士市 岩松保育園



いただきました。

日本三大急流の一つに数えられる富士川の氾濫を治めるために江戸時代に東岸に築堤されたのが富士市にある雁堤です。富士山を仰ぎ春は桜、夏は向日葵、秋にはコスモスや彼岸花が楽しめます。岩松保育園はその雁堤のすぐ近くにあり、季節を感じながらのお散歩によく出掛けるそうです。とても恵まれた自然環境の中にあります。四季折々、風を感じ、美しい風景を眺め、ときには虫を見つけたりというような楽しい経験や周りの大人の言葉掛けが子どもの五感に働きかけ、認識を助けます。

乳児組から入園するお子さんが多く、無垢

今回、東

部は富士市松岡地区にあります岩松保育園を取材させていただきました。コロナ禍もありましたので、電話等で取材をさせてい

## 園長 後藤 千春先生



な子ども達の世界を広げてあげることは大切だと、園長先生は語りま

もなく発達段階を逸脱することなく一人ひとりを受け止めその発達を促し保障していくことが大切と考えます。岩松保育園は、保育園としてこの地に開園して五六年になりました。改築し現在の園舎になって二〇年が経ちました。令和元年度より保育所型の認定こども園に移行し幼稚部が新たに加わりました。○歳児クラスから五歳児クラスまで定員七六名。園内環境で留意していることは保育室が安心してくつろげるお部屋であることだそう、毎日忙しく頑張っているらっしゃる保護者のみなさんにも玄関を入ったらホッ

するような雰囲気を感じています。「忙しい」「大変」なだけではなく、子育てが親子の幸せな時間であることを感じてほしいと思っていますし、そのお手伝いができればとも思っています。」とのことでした。園内の家庭的な雰囲気はそこから来るのかと感じました。園長先生に「今、保育業界に感じる事は？」と質問した所、「永くこの仕事をさせて頂いていますが社会が変わり保育行政も変わっていく様子を何度も経験してきました。しかし私達の目の前にいる子どもたちが、未来を背負っていくということはいつの時代も変わりません。なんと夢のあるやりがいのある仕事なのだろうと感じています。保育に関わる方々はずっと誇りに思っても良いと思います。又、この仕事に見合った社会的評価と給与も保証されるべきではないかと…」最後にコロナ禍の中、園長先生をはじめ、職員の皆様には、取材を受けて頂き、心よりお礼申し上げます。有難うございました。



## 静岡市清水区 飯田南こども園園長 菊田富士子先生

今回訪問したのは、静岡市清水区のJ R清水駅より北西一・五kmに位置する飯田南こども園です。昭和二十七年に開園した静岡市立の認定こども園です。コンクリート二階建て園舎は、大木が生い茂る神明神社に隣接しており、自然に囲まれた雰囲気の中でこどもたちが元気に生活しています。

園長の菊田先生にごあいさつした後、目にした光景は、園庭いっぱい遊んでいるこどもたちの姿でした。○歳児から五歳児まで全園児が元氣いっぱい光り輝く目で私たちを迎えてくれました。



をしている子など元氣な声があふれていました。

その中で驚いたのが、園庭で段ボールを使っておみこしを作っている子、はさみやテー

で暖かく、こどもたちは遊具や、砂遊びをしたり、水の入ったたらいの中で遊ぶ子、また、その横でどろんこ遊び

プ、散歩で集めたどんぐりを使って制作をしている子、サインペンをもって絵を描いている子、こどもたちが主体的に遊びに取り組む環境がたくさん用意されていました。

広大な園庭ではありませんが、一七七名の園児が上手にスペースを使って活動している姿が印象的でした。既製のおもちゃばかりではなく、職員の皆さんが集めた廃材やホームセンターで見つけた材料などを素晴らしいおもちゃに変身させ、それを使って、こどもたちが夢中になって遊んでいました。



い高さに飾られ、実写の動物写真が多く飾られています。廊下に飾られた製作物は、こどもたちの思いを受け相談して飾る位置を考

園舎の中に移動して、部屋の中も見学させて頂きました。そこでも、色々な工夫がされています。壁に貼られたものはこどもたちが見やす

こどもたちが十分考えたり試したり出来るような環境構成を工夫していました。特別な配慮を必要とするこどもの受け入れも行っており、すべてのこどもたちが一緒に生活しています。近年では特別な配慮を必要とするこどもが増加傾向にあります。そのため、受け入れられるために必要な知識を得る研修に参加し、適切な支援方法を学びあうことでこどもの理解に努めているとのことでした。園内では職員の働き方改革も積極的に行われており、今まで慣例だったものを廃止や縮小して、職員がこどもたちと関われる時間が少しでも増えるように考えたり、休憩時間の取り方を変えたりして、働きやすい環境整備にも力を入れていました。

飯田南こども園は、こどもの「やりたい」がたくさん詰まったこども園でした。コロナ禍の中で取材に対応していただきました菊田園長先生はじめとする職員の皆さまには心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



も増加傾向にあります。そのため、受け入れられるために必要な知識を得る研修に参加し、適切な支援方法を学びあうことで

## 袋井市 袋井ハローこども園 園長 鈴木 康先生

今回、西部地区「ぶらんこ」で取材させて頂いた袋井ハローこども園は、設置者 社会福祉法人 愛光会 定員数一〇名、所在地は袋井市の北西部にあります。近くには遠州三山の一つ萬松山可睡斎があり、自然豊かな田園風景が広がる地域となっており、若い世代も多く住んでいるようです。また、令和二年度四月一日より、保育園から幼保連携型認定こども園へ移行しました。

取材当日は良く晴れており、遠くからでも地域のランドマークとなっている、こども園のシンボルの赤い三角の屋根を綺麗に見るこ



とが出来ました。取材は園長先生にのみお伝えしてありましたが、職員の皆様を始め、子ども達も清々しい笑顔でお出迎えてくれたのが、とても好印象でした。 保育室全



した。

また、建物内には、子育て支援センターが設置されており、地域の子育て世代の大きな味方になっている事が伺えます。そして、園庭に関しては、とても広く、更に二つもあり、駐車場も別に完備しており園舎以外のところも充実していました。 撮影を兼ねて園内を見学させていた



体として、ヒノキが多く使われた木のぬくもりが感じられる作りとなっており、足を一步入れれば、木の良い香りが感じられる、とても素敵な空間になっていま

いた際に、二歳児の子ども達が、おままごとと熱中している様子がとても印象的で、おもちゃの充実さが見てわかりました。そして、同じクラスのお友だちのやりとりが微笑ましく感じられ、園庭においては、ログハウスから子どもが顔を出しながら、初めて来た私たちにも可愛らしく挨拶



をしてくれました。また、周りの自然を生かし、子どもたちが採取した「昆虫」を図鑑で一生懸命調べている様子がとてもキラキラした良い表情で見られ、自然的に「学ぶ」事への導きを行っている場面も多く見られました。 様々な情勢の中、取材にご協力していただきました事を感謝申し上げます。



## 東部支部

支部長 中里保育園 青野貴芳

- 一、総会及び施設長研修会 中止
- 二、保育の日研修会 中止
- 三、民間部会（県外施設視察研修） 中止
- 四、行政部会研修 中止
- 五、中堅保育者研修会  
期日 令和二年八月二十七日（木）  
会場 プラサヴェルデ  
講師 須賀義一氏（子育てアドバイザー）  
中村章啓氏（野中こども園）  
峯松ゆき氏（リトミック講師）
- 六、保育所職員研修会  
期日 令和二年  
十二月七日（月）・二十一日（月）  
（リモートによる研修）  
講師 須賀義一氏（子育てアドバイザー）
- 七、青年部会研修  
期日 令和三年一月二十一日（木）  
（リモートによる研修）  
講師 石坂秀巳氏  
（接客向上委員会&Peace代表）
- 八、新規採用予定職員研修会  
期日 令和三年二月二十五日・二十六日通修  
会場 沼津市民文化センター 大会議室  
講師 勝又ひでこ氏（アップハート代表）  
長澤弘子氏（メディアアリテラシー代表）  
峯松ゆき氏（リトミック講師）  
青野貴芳氏（保連東部支部長）  
吉川慶子氏（県保育士会長）  
中村章啓氏（野中こども園）

## 中部支部

支部長 一番町保育園 海野美代子

- 一、総会及び施設長研修会  
期日 令和二年五月十三日（水）  
会場 静岡県総合社会福祉会館  
講師 明星大学 教育学部  
教授 星山麻木 氏
- ☆新型コロナウイルス感染症による影響で  
総会は書面決議 施設長研修会は中止
- 二、職員研修会  
期日 令和二年六月十六日（火）  
会場 ふじのくに地球環境史ミュージアム  
☆新型コロナウイルス感染症による影響で中止
- 三、中堅保育者研修会  
期日 令和二年九月十一日（金）  
会場 静岡県総合社会福祉会館  
講師 大正大学 心理社会学部  
教授 玉井邦夫 氏
- ☆新型コロナウイルス感染症による影響で  
リモート研修に変更し、開催
- 四、新規採用予定職員研修会  
期日 令和三年二月十六日（火）  
～十七日（水）  
会場 静岡音楽館AOI  
☆新型コロナウイルス感染症による影響で宿泊なし
- 五、各地区・青年部会事業  
各地区・青年部会の事業計画に基づいて実施  
☆新型コロナウイルス感染症による影響での変更有

## 西部支部

支部長 ルンビニ保育園 岡田泰稔

- 一、総会及び施設長研修会 ※中止  
期日 令和二年五月十八日（月）  
講師（有遊育）  
代表取締役 吉田 正幸 氏
- 二、中堅職員研修会 ※中止  
期日 令和二年六月八日（月）  
講師 絵本作家 澤口 たまみ 氏  
テーマ 「絵本で伝える自然や生き物たちの魅力」  
講師 竜洋昆虫自然観察公園職員  
北野 信雄 氏
- 三、男性職員交流研修会 ※中止
- 四、初任職員研修会 ※中止  
期日 令和二年九月八日（火）  
講師 常葉大学  
名誉教授 山田 辰美 氏  
テーマ 「豊かな自然体験が育てるもの」
- 五、新規採用予定職員研修会  
期日 令和三年二月二十五日（木）  
～二十六日（金）

## 各支部だより

～活動の報告と計画～

六十周年記念事業委員会

委員長 ルンビニ保育園 岡田泰稔

静岡県保育連合会の六十周年はオリンピッククイヤーとも重なり、社会全体がお祭りムードに包まれた中で迎えられるはずでした。

昨年より記念事業と記念誌発刊にむけた委員会を立ち上げ、準備を進めてまいりました。その矢先「新型コロナウイルス感染症の世界規模での流行」にみまわれました。春には全国に緊急事態宣言が発令され、思うように委員会の開催も出来ず、限られた時間と手段を尽くして準備を進めてまいりましたが、すべての会員の皆様に心置きなくお祝い頂く為、式典は来年度に延期させていただく事となりました。六十周年記念誌は、編集委員の尽力と寄稿頂きました皆様のおかげで年内に発行することが出来、記念対談につきましても事情をご推察いただきました汐見先生、大豆生田先生のおかげで盛況のうちに終えることができました。

延期とさせて頂いた記念式典につきまして、じっくり準備させて頂く時間が取れると前向きに捉え、詳細が決まり次第皆様にお知らせいたします。

国難ともいわれるこの状況を乗り越えた先で、皆様と一緒に、心の底からお祝いしたいと切に願っております。

海外交流委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

今年度の視察は、令和二年五月三〇日(土)～六月四日(木) 四泊五日の(機内一泊)の日程でハンガリー・オーストラリアを計画し、申し込みもいただいた直後コロナ感染症が蔓延し渡航はできなくなりました。

次年度六月に同じような日程で調整中ですが今後の情勢を見守りながらというところで。

ハンガリーはヨーロッパ中部に位置しています。首都はブダペストで国土は日本の四分の一ほどです。経済的に裕福な国ではありませんが、子供と働く人々には手厚い援助がされているようです。

保育者が一人一人に向き合い、特定の保育者が応答的に関わる担当制は、日本の保育にも取り入れられているところもあります。

この視察研修で大切にされているところは、保育の場を視察するとともに、その国の教育にかかわる行政との話し合いが中心にあります。お国柄を知り理解するには、その国の人と出会い、生活を知り、空気感を感じることが大切な研修です。世界各地での感染が収まり、従事されている方、病の後遺症にいらっしゃる方が癒され、訪問がかなうことを祈るばかりです。

少子化対策委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

保育所・認定こども園利用者以外に、子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費(一事業五万円)を助成する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。これは複数の施設や団体で行う事業であれば、民間園や公立園の区別なく、また、保護者会等の団体でも助成対象としています。各支部三事業(十五万円)の予算を組んでおりますので、この助成金を活用したい団体は、各支部事務局にご連絡ください。

啓発品についてご案内、ご協力いただいている、「あいあいホットマーク」のクリアファイル(藤色)を作成しました。同じくピンバッチのご用意もあります。お申込みいただいたものは順次送付いたします。まだ、お申込数に余裕がありますのでご協力いただけるよう、よろしく願います。

研修委員会

委員長 ひくまこども園 山田佳敬

本年度は新型コロナウイルス感染症の対応で、どの園においても苦慮されていることが多いかと存じます。我々研修委員会では例年企画していた以下の研修は、残念ながら中止となつてしまいました。

○施設長研修会（四月の総会時）

○新規採用職員研修会（例年五月実施）

○育児相談研修会（例年十一月実施）

各支部、保育士会、全国組織の研修会も当初は中止や延期が相次いでおりましたが、徐々にウェブを活用した研修が増えてきております。県保連でもウェビナーによる研修を開催できる体制が整い、民間園長研修会と施設長研修会を合同にし、神戸大学准教授北野幸子氏を講師とした施設長研修会を開催できました。

また、養成校との意見交換会をZOOMによるオンラインで開催いたしました。内容については、記事をご覧ください。

今年度内の研修会は次の通りです。

○新規採用予定職員研修会

令和三年二月下旬

（会場は各支部の研修会場にて）

### キャリアアップ委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

新型コロナウイルス感染症がまだまだ国内外ともに猛威を振るい、社会生活や働き方に大きな変化が生じました。そのような中でも保育現場には社会的インフラの要として、子どもたちの最善の利益を守り、保育を行うことが求められています。

このコロナ禍においての保育士等のキャリアアップ研修の開催については、会場との調

整や講師陣の県をまたぐ移動等の制限など多くの課題もありました。特に会場の収容可能

人数の制限もあり、感染症対策をとっても研修受講を希望されるすべての方を受け入れることができませんでした。

様々な課題を踏まえ、県担当課との協議も重ねながら、本来の目的である「保育の質の向上」につながるキャリアアップ研修の実施ができるよう検討し計画していきます。

### 青年部会

部会長 竜南こども園 太田嶋俊彦

昨年は、コロナ禍の中で大規模な登園自粛が行われたり、多くの活動の見直しを余儀なくされた園も多く、これまでに経験のない激動の一年となりました。総会やシンポジウム、各種研修など例年他市から多くが集まる青年部活動も中止を余儀なくされ、今後の活動の在り方に腐心する日が続きました。しかしその反面、オンライン研修や会議、動画配信などの新たな試みも始まり、それらを導入する園も次第に増えてきました。

これからも当面この状況は続き、また様々に変化していくかと思いますが、発生する新たな課題に対し、青年部ならではの迅速な対応力で立ち向かい、乗り越えていきたいと考えています。青年部会員同士が集まり、ひざを突き合わせて話し合う機会はまだまだ少し先になるかもしれませんが、これからも子どもを

中心とした保育を進めていくとともに、互いが自己研鑽し、そして協働できる組織であるよう意識の向上に努めたいと思います。

●活動報告

青年部会総会及びシンポジウム 中止

全国青年保育者会議大阪大会 延期

●今後の予定

西部支部研修会 未定

中部支部研修会 未定

東部支部研修会 未定

### 広報委員会

委員長 あいわ保育園 増田俊一

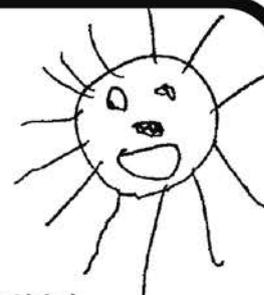
本委員会は、「ほいく静岡」を毎年二回発行（夏号・冬号）していますが、令和二年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、夏号は見送りとなりました。

冬号は、コロナ禍で制約のある中での取材・編集となりましたが、原稿執筆者、委員の皆さんのお陰で無事発行となりました。

これからも「楽しく、ためになる」広報誌を目指します。よろしくお願ひします。



# 園および園児をさまざまな リスクからサポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。

公益社団法人全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、

園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する各種保険を取り扱っております。

## ほいくのほけん

〔園賠償責任保険〕

〔園児団体傷害保険 (学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)〕

〔特別保育事業賠償責任保険〕など、

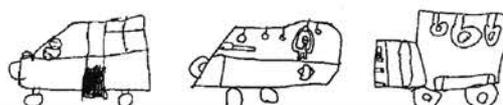
園経営におけるリスクに関する保険をラインナップ

しています。また、それらを総合的に補償する

セットプランもご用意しております。

## やくいんのほけん

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクを補償します。



上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

〈引受保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社 担当課:公務第二部 文教公務室 TEL:03-3515-4134

連絡先



公益社団法人全国私立保育園連盟指定 / 東京海上日動火災保険株式会社代理店

**有限会社ゼンポ**

TEL **03-3865-3881**  
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10全国保育会館4階

子どもの育ちが見えれば、明日の保育がもっと豊かに！

全国私立保育園連盟推奨 (総代理店)

導入費用  
無料



# きっずノート

「きっずノート」は、文字だけでは伝えきれない園での豊かな活動、子どもたちが自ら学び・育つ姿を「見える化」するアプリです。

保育者の  
業務  
省力化

子どもの  
学び・育ちの  
見える化

緊急時の  
連絡手段

正式利用お申込みの全施設

最大9ヵ月

**利用料無料!**

契約更新後も料金そのまま!

年間一括利用料6万円

利用しやすい価格に  
なりました!

ひと月  
あたり **5,000**円  
(税別)

※ただし、事業者利用規約の定めにより、将来において利用料金に変更になる可能性がございます。

詳しくはお問い合わせください。

<担当者:菅沼、太田>

# 紙から創る、コミュニケーション

<http://dainichi-p.co.jp>



自社製造のメモ帳専門メーカーメモ工房。年間 500 万冊以上の実績。販促、ノベルティに最適なメモのことなら大日三協(株)のメモ工房へ！



## 大日三協株式会社

静岡県静岡市葵区流通センター12-1  
TEL:054-263-2435(代)・FAX:054-263-2409

他にも色々なメモ帳をご用意！

メモ工房 検索

### さまざまな危険からお子さまをお守りする

2021年1月現在の内容です。

## 『キッズガード』(園児総合保障制度(こども総合保険))

### AIG損害保険株式会社

日々大きく成長されるお子さまたちの行動には予測できないことも多く、何かとお心づかいのことで存じます。いつ、どこで何が起こるのか予想もつかない事故の、確かな“おまもり”として本制度をお届けいたしております。

S-210046(202201)

静岡支店	〒420-0851	静岡市葵区黒金町20-1 富士火災静岡ビル5階 Tel: 054-255-5141
浜松支店	〒430-7715	浜松市中区板屋町111-2 浜松アクタワー15階 Tel: 053-454-0321
沼津支店	〒410-0801	沼津市大手町2-10-14 Tel: 055-963-8081



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、  
保育環境の未来を提案する。  
それが、私たちの仕事です。

株式会社 **シヅクエツ**

保育士・保育所支援センターでは、  
**保育の仕事を探している方と**  
**人材を求めている保育所との**  
 橋渡しをします。

求職者との個別相談、園の見学や体験事業、就職フェアやセミナーなどを通して仕事の紹介をしています。

静岡県・  
 静岡市  
 委託事業

「福祉のお仕事」からインターネット  
 経由で求人申請ができます。  
<https://www.fukushi-work.jp/>



「福祉のお仕事」

社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会  
 福祉人材無料職業紹介所 厚生労働大臣許可  
 静岡県社会福祉人材センター  
**静岡県・静岡市**  
**保育士・保育所支援センター**

**TEL.054-271-2110**

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70  
 静岡県総合社会福祉会館「シズウエル」3階  
 開所：月～金曜日(8:30～17:00) 祝日除く  
 お気軽にご相談ください!



保育士・保育所支援センター  
 ホームページ

さあ、ワクワク探しの旅に出かけよう! [www.tobutoptours.co.jp](http://www.tobutoptours.co.jp)



“Warm Heart”  
 ~ありがとうの連鎖を~



**東武  
 トップ  
 ツアーズ**

**静岡支店**

〒420-0859

静岡県静岡市葵区栄町3番1号

あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル10F

TEL.054-255-1919 FAX.054-252-9509

**こどもの笑顔がみたいから**

安心・安全な  
 保育園用おやつ



全国の保育園から  
 お使い頂いています



**株式会社サンワールド**

<静岡支店> 〒421-0121 静岡市駿河区広野2-10-17

TEL054-256-6332 <http://www.sunworld-honsha.co.jp>

# 社会福祉法人支援システム「創・ゆとり」シリーズ

保育所「ICT化推進補助金」対応！

保育所事務処理の“作業効率化・正確化”を応援します！

## 園-SiEN(支援)

園児の記録を統合管理します  
出席簿・保育日誌・週案・月案等を、  
現在ご利用中の書式でデータ管理  
できます！

## 財務会計2021

「新会計基準」準拠！  
シンプルに使いやすく、予算～仕訳  
～決算まで安心の、財務会計シス  
テムです

## 給与計算2021

「給与実務カレンダー」「職員一覧入  
力画面」等、便利な機能を追加して  
生まれ変わった、給与計算シス  
テムです



ISO9001・ISO27001認証 ITインテグレーター

株式会社 **ユニテック**

〒420-0911 静岡県葵区瀬名1丁目18-33 ユニテックビル  
TEL:054-264-1111 FAX:054-264-7771

ホームページ [www.unitec.jp](http://www.unitec.jp) メールアドレス [eigyo@unitec.jp](mailto:eigyo@unitec.jp)



## 子ども・子育て支援制度対応・ICT補助金対象システム 「PAL ANGEL (パルエンジェル)」

ICカードで簡単操作の登降園管理、園務日誌、保育計画、報告書等、多様化する 保育園の  
事務作業をサポートいたします。クラウドサービスで安心です！

園の紹介、情報公開は簡単便利な  
ホームページで！  
「らくらく更新web」

苦情解決、事業報告、行事予定、アルバム等が  
園のパソコンで簡単に更新できます！

簡単操作のメール配信システム  
低価格で多機能！  
「チェックインシステム」

緊急連絡他、アンケート調査、質問回答集計、閲  
覧状況、受信状況も把握できます！



株式  
会社

**データサービスセンター**

〒411-0912 駿東郡清水町卸団地63-2  
TEL:055-972-7717 FAX:055-976-1057

<http://www.dataeast.co.jp> E-mail:[h-sanada@dataeast.co.jp](mailto:h-sanada@dataeast.co.jp)



御殿場市 双葉保育園

勝又秀文  
テレワークでの編集作業に不安が  
先立つのは年のせいでしょうか！

長泉町 このはな保育園

伊藤 悟  
貴重な経験をさせていただいた二  
年間でした。ありがとうございます！

富士市 すみれ認定こども園 後藤恭佑

今年はコロナに振り回された一年になりました。  
来年は皆様にとっても飛躍の年となりますよ  
うに、よいお年をお迎えください。

静岡市 あいわ保育園 増田俊一

今年にはコロナ禍で八六号(合併号)だけの発行  
となりました。一日も早い収束を祈ります。

静岡市 城北保育園 松田 剛

コロナ禍の中、普通と違う生活がこれから普通  
にならないように、令和三年は楽しい年になると  
いいな。

静岡市 有度十七夜山保育園 笠井友泰

新採研が今年度行われたこと、今思うと奇跡で  
す。実行委員の皆さん有難うございます。

静岡市 草薙ふたばこども園 市川千暁

少し慣れてきて、周囲の先生方のご協力を得な  
がら、楽しく編集記事を書かせて頂くことが出来  
ました。ありがとうございます。

島田市 認定こども園 エルフのゆめ

休刊にならず、夏冬合併号をお届けできて良か  
ったです。ご協力ありがとうございました。

袋井市 袋井ハローこども園 鈴木 康

来年が皆さんにとって良い一年となりますよう  
に。コロナに負けずに頑張りましょう！

湖西市 真愛三ツ谷こども園 松浦弘太郎

感染症に対して戦々恐々としています。やれ  
る事だけでも頑張ります。

湖西市 おかさきこども園 鈴木静香

体が機敏でなくなり、よく考えて頭を使ってい  
かないと原稿が仕上がりにません。保育も同じです。

# わんぱくひろば



## 「ほいく静岡」原稿写真募集中

保育実践・研究の紹介や育児相談・講座の紹介など奮ってご寄稿下さい。

✉ 投稿先 静岡県保育連合会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号

TEL : 054-251-8873